

黒潮圏海洋科学研究科公開セミナー

ギンサウゴン村の悲劇に学ぶ フィリピン・レイテ島 の山津波調査報告



日時：2007年7月25日（水）15:00-17:00

場所：高知大学「メディアの森」6階 メディアホール

【報告と報告者】

1. 調査のねらいと概要……………諸岡慶昇(高知大学)
2. フィリピンにおける火山性土砂災害とその対策……E. リスタンコ教授
(フィリピン大学)
3. レイテ島ギンサウゴン村山津波の特徴と地質学的素因……吉倉紳一
(高知大学)
4. 四国の地すべりとギンサウゴン村山津波の比較……………村井政徳
(中国開発調査株式会社)
5. 総合討論

平成18年2月17日に、フィリピンのレイテ島南部ギンサウゴン村で巨大な地滑り(山津波)が発生し、全村千数百名が生き埋めとなる惨事が起きました。本セミナーでは、フィリピン大学と合同で行った現地調査を話題に、高知県の事例との比較考察結果を報告し、その教訓に学びたいと思います。



黒潮圏海洋科学研究科

問合先：諸岡088-864-5241